緊急

大嘗宮は茅葺（かやぶ）きを！

―宮内庁の伝統破壊に抗議の声を届けませう―

大嘗祭の中心施設である大嘗宮の屋根が「茅葺き」であるのは、古来からの伝統であり、その様式が改変されたことは一度もありません。この悠久の伝統を破り、宮内庁は大嘗宮の屋根を「板葺き」にするとの決定を下しました。一部識者により「せめて神様をお迎へする悠紀殿（ゆきでん）・主基殿（すきでん）のみでも茅葺きにすべき」との要請の声が挙がるも、宮内庁は未だこれを改めようとしません。７月２６日には大嘗宮地鎮祭が斎行されましたが、まだ間に合ひます。

有志国民が声を挙げ、宮内庁の伝統破壊を食ひ止めませう。

◇送信先

① **内閣総理大臣 官邸（安倍晋三首相）**

fax 03 3581 3883

首相官邸ホームページの「ご意見・ご感想」から

住所 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-3-1

② **宮内庁（山本信一郎長官）**

fax 03 3201 6859（秘書課）

宮内庁ホームページの「ご意見・ご感想」から

住所 〒100-8111 東京都千代田区千代田 1-1

―短文でも結構です―

「大嘗宮は茅葺きにすべきです」

「宮内庁は伝統破壊を止めて下さい」

「天皇陛下に申し訳ない」

「板葺きの上に茅葺きを施せば良い」

「せめて悠紀殿・主基殿だけは茅葺きを」

―国民の声を届けませう！―